

# HiKOKI

## 取扱説明書

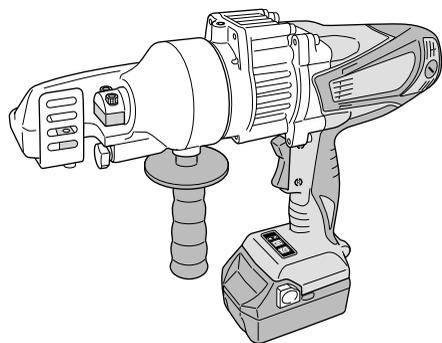
用途

- コンクリート補強用に使用する鉄筋の切断作業

## コードレス鉄筋カッタ

16mm CF 18DSL 19mm CF 18DSAL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	7
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	11
標準付属品	13
別売部品	14

はじめに

各種操作方法について	15
ご使用前の点検・確認・準備	17
切断する	19
カッタブロックの交換	21
油圧オイルの補充方法	23
蓄電池を充電する	25
USB 機器を充電する	27

使い方

保守・点検	29
故障診断	33
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## **警告**、**注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**警告**」、「**注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **警告**

#### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

#### ② 正しく充電してください。

- 付属の充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 付属の充電器は温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 未満、または温度が $40^{\circ}\text{C}$ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **感電に注意してください。**  
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。  
感電の恐れがあります。
- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。  
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**  
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠️注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
  - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**  
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
  - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
  - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス鉄筋カッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- ① 仕様欄にある本機の切断能力を超えた作業はしないでください。  
また、硬い輸入材や PC 網などの材料は切断しないでください。  
切断片が飛ぶことがあり、事故の原因になります。
- ② 飛散防止ガードは必ず取付けて使用してください。取りはずしたままで作業することはしないでください。
- ③ 作業中はヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。
- ④ 油圧オイルは引火しやすいので、火気を近づけないよう次の点に注意してください。
  - 運転中、または本体の暖かいときはポンプケースのオイルプラグをはずさない。
  - 油圧オイルの補給は、本体がよく冷えてから行う。
  - 油圧オイルの補給は、周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさない。こぼれたときは良く拭き取る。
  - 油圧オイルの補給時や運転中はタバコを吸わない。
  - 運転するときには、油圧オイルを補給した場所をはなれて行う。
- ⑤ 鉄筋はカッタブロックの間に深くはさみ、切断してください。  
浅い位置で切断するとカッタブロックを損傷したり、切断片が飛ぶことがあり、事故の原因になります。
- ⑥ スイッチを操作する際には、カッタブロックには絶対に顔や手を近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ⑦ 鉄筋を 15cm より短く切断しないでください。また、一度に 2 本以上切断しないでください。  
切断片が飛ぶことがあり、事故の原因になります。
- ⑧ 摩耗・破損・変形しているカッタブロックを使用していると、本体に損傷を与えるだけでなく、事故の原因になるので、新しいカッタブロックに交換してください。
- ⑨ 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑩ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



## ⚠️ 注意

- ① カッターブロックやハウジングの取付けボルトのゆるみ、油圧オイルの量などを作業前に点検してください。  
また、スパナなどの工具類は忘れずに機体から取りはずしてください。
- ② カッターブロックの点検・清掃・交換時は、工具本体から蓄電池を抜いてから行なってください。  
誤ってスイッチを入れてしまうと、事故の原因になります。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
本製品や材料などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 油圧オイルはモービル・ヌトー H46 を使用してください。  
または、国際 ISO 補助粘度グレード 46 (VG46) 相当品を使用してください。
- ⑤ 油圧オイルが目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ⑥ 油圧オイルが皮膚に触れた場合は、直ちにきれいな水と石けんで十分に洗い流してください。  
皮膚が炎症を起こす原因になる恐れがあります。
- ⑦ 油圧オイルを誤って飲んだ場合は、無理に吐かずに、直ちに医師の治療を受けてください。
- ⑧ 油圧オイルを使用しないときは、容器のふたを締め、子供の手の届かない、直射日光を避けた暗所に保管してください。
- ⑨ 油圧オイルの容器を、熱・炎・スパークなどの発火源に近づけないでください。  
破裂することがあります。
- ⑩ 蓄電池は確実に取付けてください。  
確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑪ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑫ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑬ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。  
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。  
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NK 仕様除く) されている充電器 UC18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NK 仕様除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
18V 蓄電池 (BSL18xx シリーズ) の場合：電池電圧約 10V まで低下すると停止このときは速やかに充電してください。
- ② コードレス工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

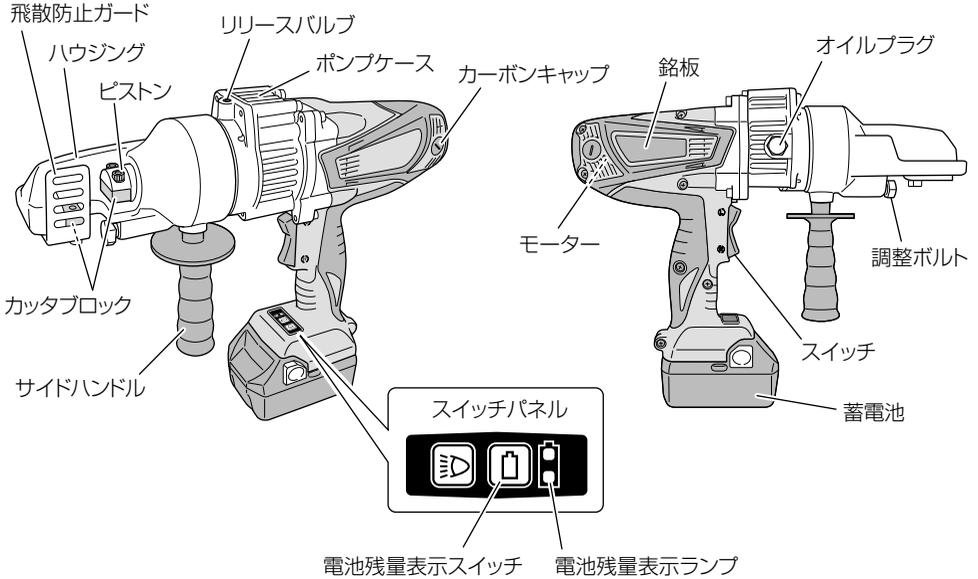
## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

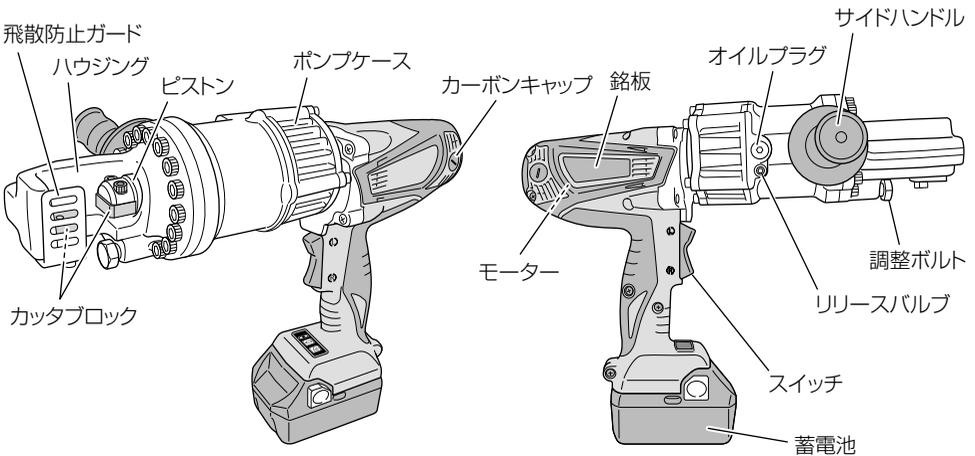
# 各部の名称

## 工具本体

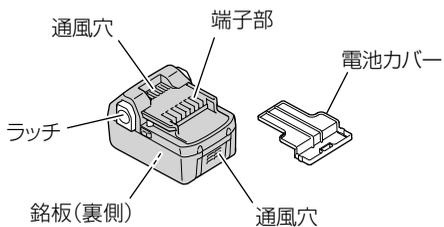
### 【CF18DSL】



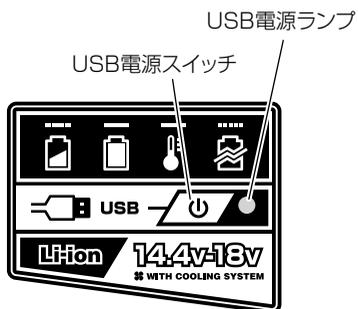
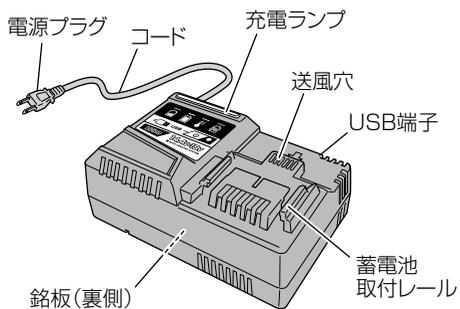
### 【CF18DSAL】



## 蓄電池



## 充電器



はじめに

# 仕 様

## 1. 工具体

形 名	CF18DSL	CF18DSAL
モ ー タ ー	直流モーター	
切 断 能 力	軟鋼材 (SS400、SD345)	
	外径 4 ~ 16mm	外径 4 ~ 19mm
切 断 速 度 ( 前 進 時 間 )	4 秒	6.5 秒
ヘ ッ ド 回 転 角	345°	360°
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	18V	
寸 法* ( L × H × W )	370mm × 306mm × 90mm	413mm × 316mm × 103mm
質 量*	6.6kg	9.4kg
残 量 表 示 ラ ン プ	赤色 LED	

※ 蓄電池装着後、サイドハンドル除く

## 2. 充電器

形名	UC18YSL3
入力電源	単相交流 50/60Hz 共用 電圧 100V
充電電圧	蓄電池：18V または 14.4V、USB 端子：5V
充電可能蓄電池	リチウムイオン電池 18V (BSL18xx シリーズ) 14.4V (BSL14xx シリーズ)
蓄電池充電時間 <sup>*1</sup> [気温 20℃時]	6.0Ah 品：約 38 分 5.0Ah 品：約 32 分 4.0Ah 品：約 26 分 3.0Ah 品：約 20 分 2.5Ah 品：約 25 分 2.0Ah 品：約 20 分 1.5Ah 品：約 15 分 1.3Ah 品：約 15 分
蓄電池充電電流	6.0Ah、5.0Ah、4.0Ah、3.0Ah 品：8.0A 2.5Ah、2.0Ah、1.5Ah、1.3Ah 品：6.0A
USB 端子充電電流	2A
コード	2 心ビニールコード
質量	0.6kg
使用温度範囲 <sup>*2</sup>	-10℃～40℃
冷却	対応 (ファン付き)
ブザー音	あり

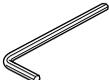
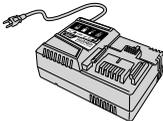
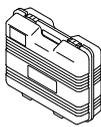
※1：蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2：周囲温度が 0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

## 3. 蓄電池

形名	BSL1850
容量	5.0Ah
冷却	対応

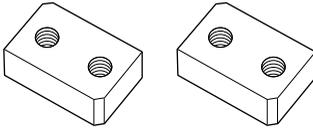
# 標準付属品

品名・形名	形名 仕様	CF18DSL		CF18DSAL	
		LJCK	NK	LJCK	NK
両口スパナ (17mm × 19mm)		1 個	1 個	—	—
六角棒スパナ (4mm)		1 本	1 本	1 本	1 本
六角棒スパナ (5mm)		—	—	1 本	1 本
サイドハンドル		1 個	1 個	1 個	1 個
油圧オイル (70cc) [ モービル・ヌトー H46 ]		1 本	1 本	1 本	1 本
蓄電池	BSL1850 	1 個	—	1 個	—
充電器	UC18YSL3 	1 台	—	1 台	—
収納ケース		1 個	1 個	1 個	1 個
電池カバー		1 個	—	1 個	—

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## カッタブロック (2 個入り)

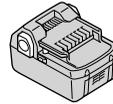


CF18DSL と CF18DSAL では形状が異なりますので、お買い求めの際は形名をお伝えください。

**注** 従来機種 CF13、CF16 用カッタブロックは仕様異なるため使用できません。

## 18V 蓄電池

BSL18xx シリーズ



予備電池としてご利用ください。

はじめに

## 蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

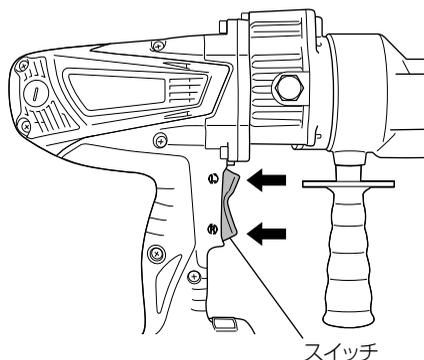
# 各種操作方法について

## ●スイッチの操作について

スイッチを引くと、ピストンが往復運動します。

スイッチをはなすと、スイッチは元の位置に戻り、ピストンは停止します。

なお、スイッチは「L」、「R」のどちら側でも同じ動作をします。



## ●スイッチパネルについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

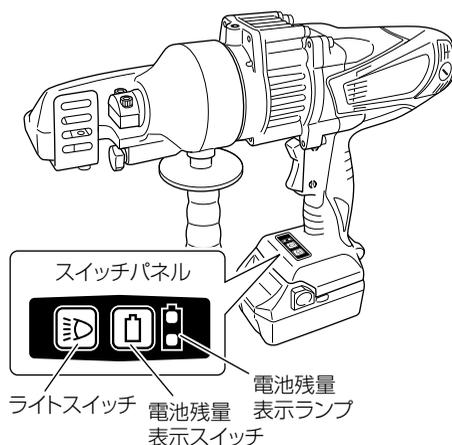
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

### ⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

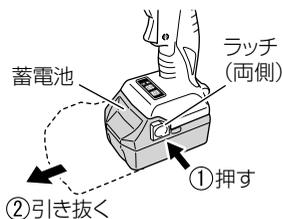


**注** 本機はライトを搭載しておりませんので、ライトスイッチは使用できません。

## ●蓄電池の取りはずし・取付け

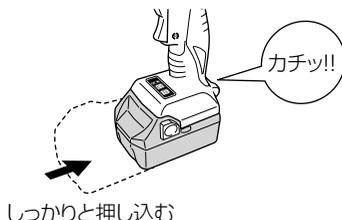
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

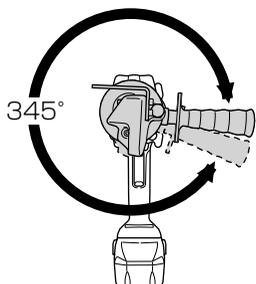
取付けるとき



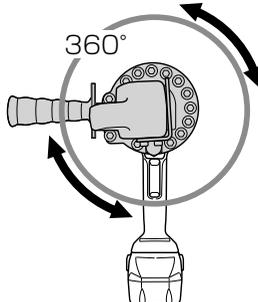
## ●工具本体の回転機構について

モーター部を回転させて、作業内容に応じた適切な位置で作業することができます。

[CF18DSL]



[CF18DSAL]

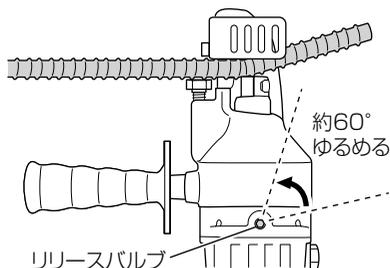


## ●鉄筋をかみ込んだ場合の解放機能

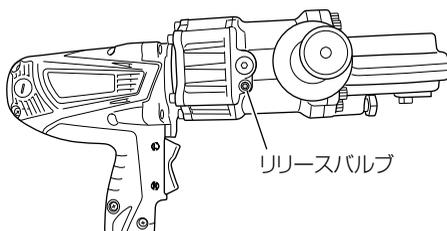
使用中に、何らかの原因で電源の供給が止まるなどして、鉄筋がかみ込んだ場合には、付属の六角棒スパナを使用して、リリースバルブを開いてください。

リリースバルブを約60°ゆるめますとピストンが後退します。ピストンが最後まで戻ってきたのを確認してから、リリースバルブを元の位置に戻し、確実にしめてください。

[CF18DSL]



[CF18DSAL]



# ご使用前の点検・確認・準備

## ⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。  
手順 ①～⑦ については、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いた状態で点検・確認してください。

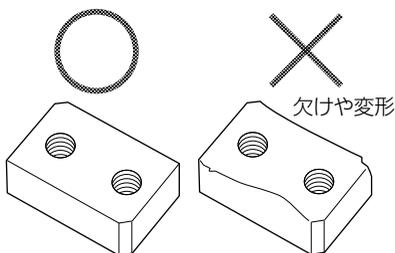
## 1 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っていることを知らずに蓄電池を取付けると不意に始動し思わぬ事故の原因になります。  
スイッチを引きはなしたとき、スイッチが戻ることを必ず確認してください。

**注** ① スイッチが元の位置に戻らない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

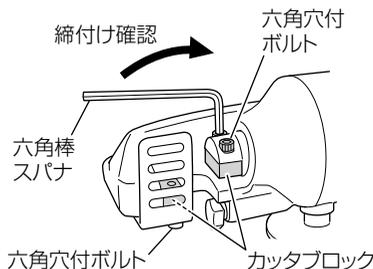
## 2 カッタブロックの確認

摩耗や変形、欠けがないか確認してください。



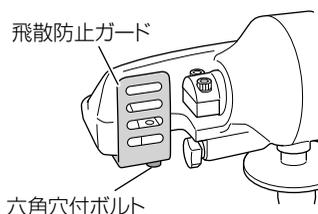
## 3 カッタブロックの取付けボルトを確かめる

ゆるんだ状態でご使用になりますと、本体やカッタブロックの破損をまねくことがあります。



## 4 飛散防止ガードの確認

確実に取付けられていることを確認してください。取付けが確実でないと思わぬ事故の原因になります。



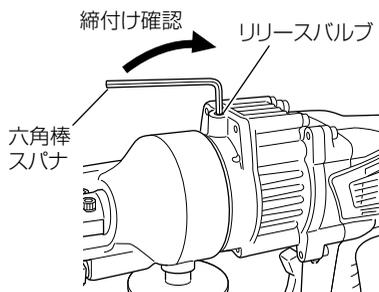
## 5 油圧オイル量の確認

本機は油圧で作動します。油圧オイルの量が不足しますと十分な能力が発揮されません。オイルプラグをはずして、油圧オイル量の確認を行ってください。(P.23の「油圧オイルの補充方法」参照)

# 6

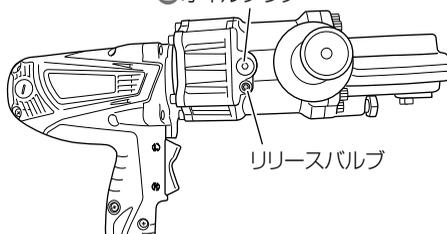
## リリースバルブの確認

リリースバルブが閉まっていることを確認してください。



[CF18DSAL]

⑤ オイルプラグ



# 7

## 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

# 8

## 試運転を行う

スイッチを入れ、異音、火花、動作不良などの異常がないか確認してください。

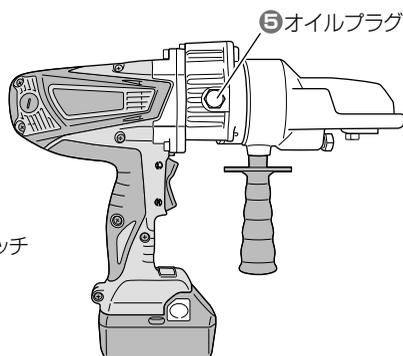
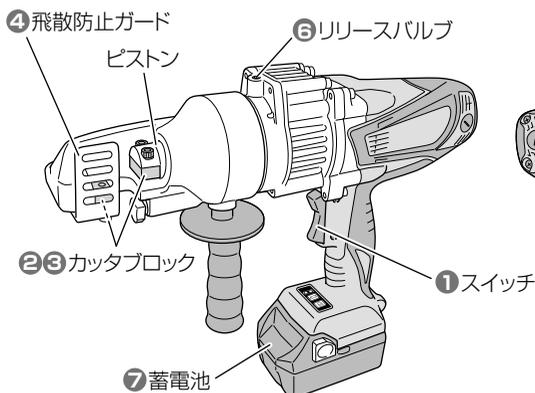
**注** 異常に気がついた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

## ● 暖機運転について

本機は油圧で作動します。冬場や寒冷地では油圧オイルの粘度が過度に上がり、動きが鈍くなる場合があります。このような場合は、使用前に暖機運転を行ってください。

### 暖機運転の方法

鉄筋をはさまない状態でスイッチを引き、30～60秒連続で運転（ピストンの前後作動）し続けてください。

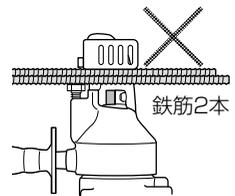
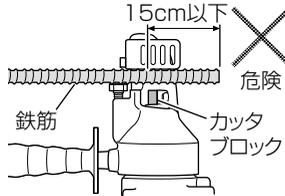
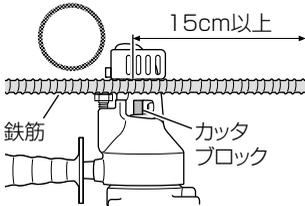
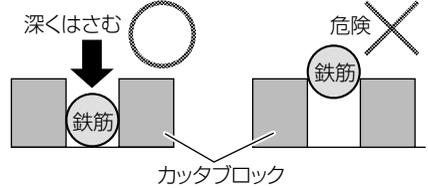


# 切断する

## 警告

- スイッチ操作時は、絶対にカッタブロックに顔や手を近づけないでください。
- 最大能力を超えた作業はしないでください。また PC 綱など硬い材料は切断しないでください。
- 鉄筋はカッタブロックの間に深くはさんでください。浅い位置で切断するとカッタブロックを損傷したり、切断片が飛ぶこともあり、事故の原因になります。
- 鉄筋を 15cm より短く切断しないでください。また、一度に 2 本以上切断しないでください。

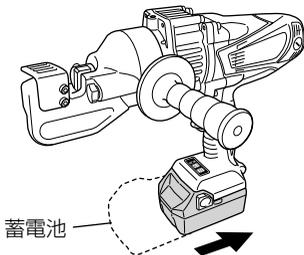
15cm よりも短く切断すると切断片が飛ぶことがあり、事故の原因になります。



- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、工具本体から蓄電池を取りはずしておいてください。

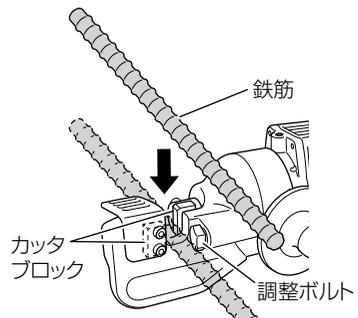
## 1 蓄電池を取付ける

作業に応じて工具本体を回転させます。次に蓄電池を下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押込んでください。



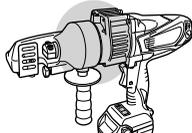
## 2 鉄筋をセットする

鉄筋をカッタブロックの間に深くはさみます。



**注** 使用条件・使用環境によっては、油圧部が高温（50℃以上）になることがあります。

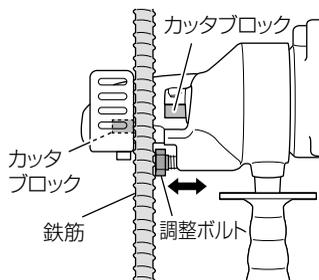
油圧オイルの粘度が低下し、切断力が落ちますので、一度本体を冷やしてから使用してください。



●：高温部

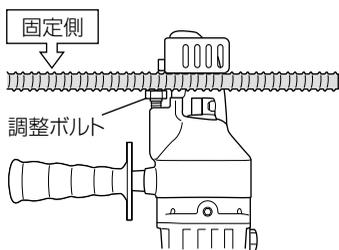
### 3 材料の位置調整

鉄筋がカットブロックに対して直角になるように、切断する鉄筋径に合わせて付属の両口スパナ（17mm 側）で調整ボルトを回し、位置を調整してください。



### 4 鉄筋を保持する

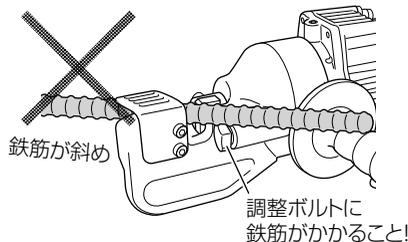
鉄筋は調整ボルト側をしっかりと固定または保持してください。切り落とされた材料がはねて、けがの原因になります。



## 警告

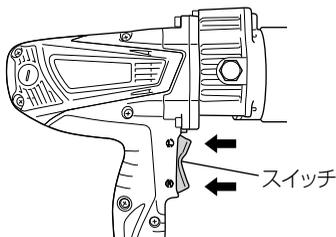
鉄筋が調整ボルトにかからないような方向（斜めにするなど）で切断しないでください。

切断した鉄筋が跳ね飛ぶ恐れがあります。



### 5 スイッチを入れる

スイッチを入れると、カットブロックのついたピストンが前進し、鉄筋が切断されます。



**注** ピストンが先端にいくまでスイッチを引き続けてください。

### 6 スイッチを切る

ピストンが先端まで届いた後、スイッチを切ります。自動でピストンが元の位置に戻ります。

カットブロック周辺に切り落とされた材料が残っていないことを確認してください。

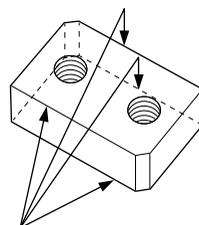
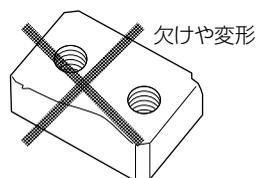
# カッタブロックの交換

## ⚠ 警告

- カッタブロックを交換するときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。  
思わぬ事故の原因になります。
- カッタブロックの着脱は、付属の六角棒スパナ (4mm) で作業してください。  
付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

カッタブロックは鉄筋切断の繰り返しにより刃部が摩耗したり、変形・欠けなどが生じてきます。

摩耗や変形、欠けが生じたカッタブロックを使い続けると、鉄筋は最後まで切断されず、カッタブロックにはさまれた状態となり、ピストンが戻らなくなることがあります。さらに工具本体の故障やカッタブロックの破損をまねくことがあります。



刃部 1 辺で切断 1,000 回

- 刃部 1 辺あたりの寿命 (切断回転数) の目安はおよそ 1,000 回です。

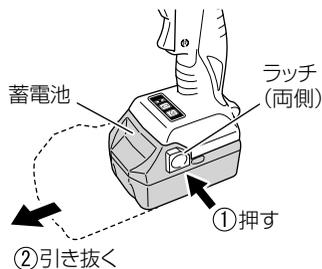
カッターブロック 1 個に刃部 4 辺

- カッタブロックには刃部が 4 辺あり、取付け向きを替えることにより 4 回使用できます。

寿命のカッタブロックは早めに交換

- 刃部に欠けや変形がある場合は、早めにカッタブロックの向きを変えて新しい刃部を使用するか、または新品と交換してください。

## 1 蓄電池を取りはずす



## 3 カッタブロックを準備する

- カッタブロックを2個用意して、刃部の欠けや変形を確認し、カッタブロックの取付面にふくらみがある場合には、ヤスリなどで平らに仕上げてください。
- 刃部の取付け向きを変えれば、1個のカッタブロックを4回ご使用いただけます。
- カッタブロック取付部周辺に付着した切粉やごみは、ブラシなどで取り除いてください。

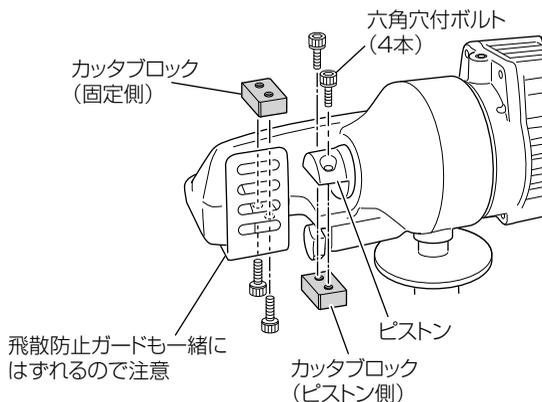
## 2 カッタブロックを取りはずす

付属の六角棒スパナ(4mm)で六角穴付ボルトを(4本)ゆるめて、カッタブロックを取りはずします。

## 4 カッタブロックを取付ける

カッタブロックのねじ穴を、ハウジングとピストンの取付け穴に合わせ、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2個のカッタブロックを確実に固定します。

**注** 固定側のカッタブロックは飛散防止ガードと一緒に固定してください。



# 油圧オイルの補充方法

## ⚠ 警告

油圧オイルの補充は、必ず本体・油圧オイルが冷えた状態で行ってください。

本体が暖まっているときにオイルプラグをはずすと、中のオイルが噴き出すことがあり、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

① 油圧オイルはモービル・ヌート H46 を使用してください。または、国際 ISO 補助粘度グレード 46 (VG46) 相当品を使用してください。

② 油圧オイルが目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

放置すると液により目に障害を与える原因になります。

③ 油圧オイルが皮膚に触れた場合は、直ちにきれいな水と石けんで十分に洗い流してください。皮膚が炎症を起こす原因になる恐れがあります。

④ 油圧オイルを誤って飲んだ場合は、無理に吐かずに、直ちに医師の治療を受けてください。

⑤ 油圧オイルを使用しないときは、容器のふたを締め、子供の手の届かない、直射日光を避けた暗所に保管してください。

⑥ 油圧オイルの容器を、熱・炎・スパークなどの発火源に近づけないでください。

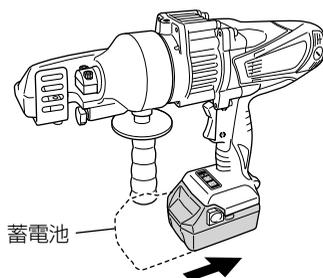
破裂することがあります。

**注** オイルプラグの取りはずし、取付けおよび油圧オイルの補充時に、オイルがこぼれたり、あふれることがあります。

機体の下にウエスなどを敷いて作業してください。

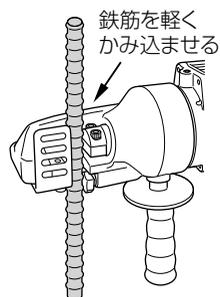
## 1 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



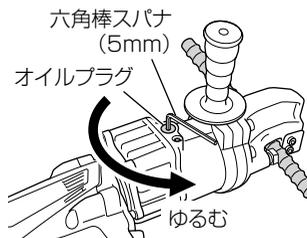
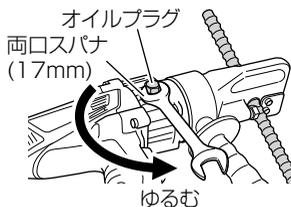
## 2 鉄筋をかみ込ませる

能力内で、できるだけ太い鉄筋を深くはさみ、スイッチを入れてピストンを前進させて、鉄筋を軽くかみ込ませます。



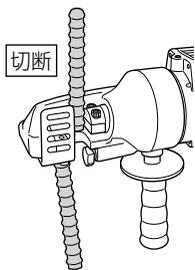
**3****蓄電池を取りはずしてから、オイルプラグをはずす**

スイッチを切り、ピストンを止めて、そのままの状態でおイル注入口を上にし、付属の両口スパナ (17mm 側) でオイルプラグをはずし、注入口いっぱいまでおイルを補充します。

**[CF18DSAL]****4****オイルプラグを締め、蓄電池を取付けて、鉄筋を切断する**

オイルプラグのねじ部にごみが付着していないことを確認してから、オイルプラグを締めてください。

スイッチを入れて②の鉄筋をそのまま切断します。

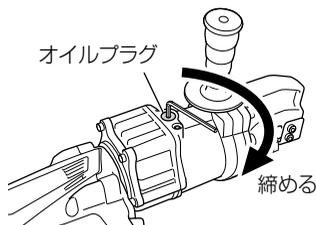
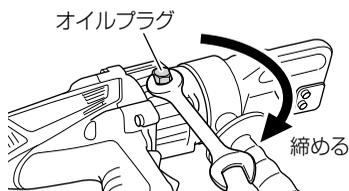
**5****油圧おイルを満タンにする**

②～④の操作を2～3回繰り返して、油圧おイルを満タンにします。

- 注**
- オイル注入時にはおイルが入らないように注意してください。
  - こぼれたり、あふれた油圧おイルはウエスなどで良く拭きとってください。  
プラスチック部品内部のモーターなどに侵入すると、故障の原因になります。

**6****オイルプラグを締め付ける**

オイルプラグを十分に締め付けます。

**[CF18DSAL]**

# 蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

## ⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100V 用です。200V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む

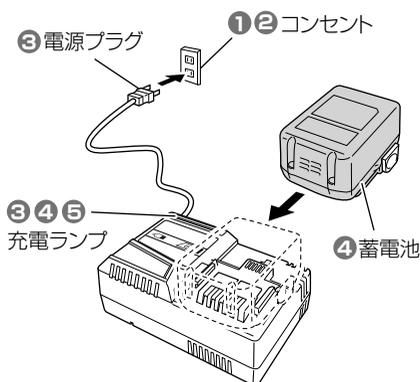
充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。  
(P.26「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯あるいは点滅して、充電容量の状態をお知らせします。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



### 充電時間

BSL1850: 約 32 分

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

## ● 充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。  
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点滅	0.5 秒点灯 / 1 秒消灯 	電池容量 50%未満
		青点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電池容量 80%未満
		青点灯	連続点灯 	電池容量 80%以上
	充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音: 約 6 秒) 	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (連続ブザー音: 約 2 秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

**注** 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

## ● 1 充電当たりの切断回数

切断回数は、鉄筋の材質・種類、カッタブロックの状態、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。

形名	CF18DSL	CF18DSAL
蓄電池	BSL1850	
材料	軟鋼材 (SD345)	
外径	16mm	19mm
1 充電当たりの切断回数	183 回	116 回

1 回の充電による切断回数を増すためには

- 切断するとき以外の運転（無負荷運転）は少なくしてください。
- 切れ味の悪いカッタブロックは使用しないでください。

## ⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

本製品に標準付属 (NK 仕様除く) されている充電器 UC18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

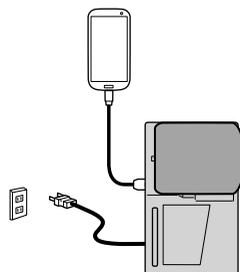
電源のない場所で当社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
  - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。  
(詳細は、P.33「故障診断」参照)。
  - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。  
USB 機器の蓄電池寿命 (充電回数) を低くしたり、思わぬ事故の原因になります。
  - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

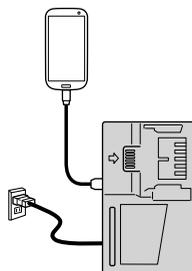
## 1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

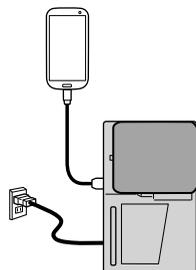
### 蓄電池から USB 機器を充電



### 100V コンセントから USB 機器を充電



### 100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電

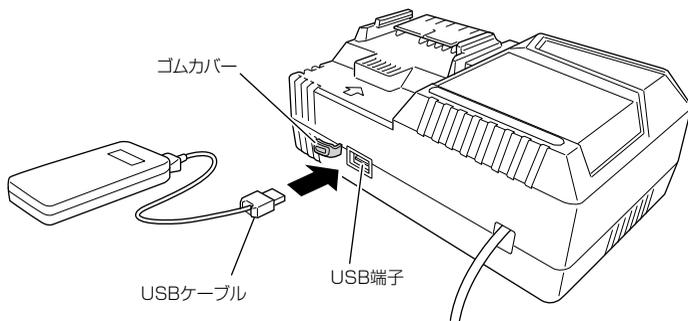


## 2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

## 3 USB ケーブルを接続する

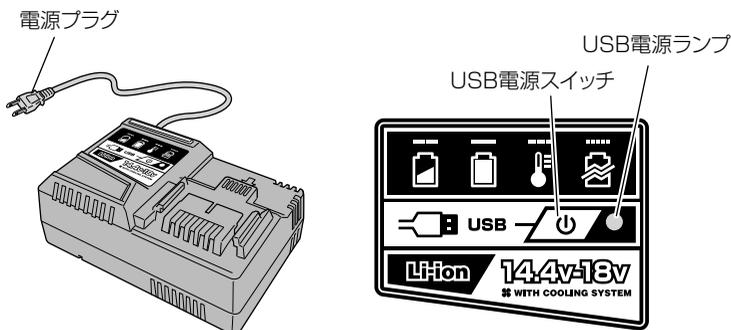
ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

## 4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- エアガンなどを用いて風穴や保護カバーなどに空気を吹き込む際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。排出された切粉等を吸い込んだり、目に入る可能性があります

## ● 使用後のお手入れ

使用後は、革手袋をしてピストンまわりの鉄粉、ごみなどを清掃してください。

**注** 鉄粉などがはさまっていると、ピストンが動かなくなることがあります。

## ⚠ 警告

エアガンなどでごみを吹き飛ばさないください。  
鋭利な切断片などが飛散した場合、けがの原因になります。

## ● 取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。

そのまま使用すると危険です。

## ● 表面の汚れ清掃

コードレス工具が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ● 油圧オイル量の点検

切断力不足の原因の70%以上が油圧オイル量の不足によるものです。油圧オイル量の点検は、使用前に必ず行なってください。

## ● 廃油の処理について

廃油の処理に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。規制に従い、適正に処理してください。

海・河川・湖、その他川付近および排水溝に捨てないでください。

火災の危険があるだけでなく、環境汚染や火災の原因になる原因になります。

## ● カッタブロックの点検

### ⚠ 警告

カッタブロックは早めに交換してください。欠けや変形・摩耗がある状態で使用すると、破片が飛散しけがの原因になります。

カッタブロックに欠けや変形・摩耗がないか、定期的に点検してください。

## ● 運搬

本製品を持ち運ぶときは、工具本体より蓄電池を取りはずしてください。誤ってスイッチを引くと事故の原因になります。

## ● 作業後の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

## ● モーター部の取扱いについて

モーター部 (P.9「各部の名称」参照) の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

**注** 50時間くらい使用しましたら、エアガンなどを用いて湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。

モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

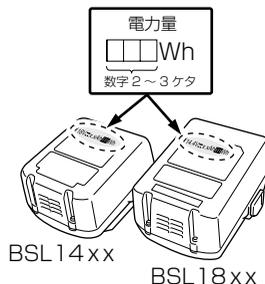
## ● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

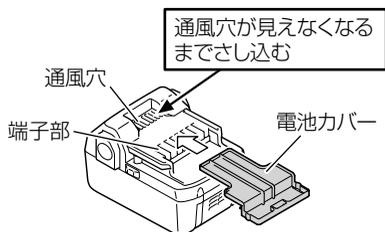


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池はコードレス工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

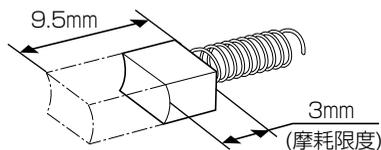


- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3ヶ月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

## ●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3mmぐらゐ)になりましたら新品と交換してください。

**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

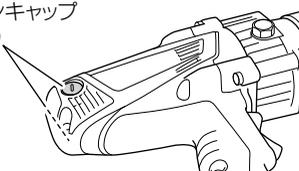


## ●カーボンブラシの交換方法

### 1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。

ブラシキャップ  
(2個)



### 2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取出します。



### 3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のように、カーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。

**注** カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

ブラシチューブ  
外側の接触部



### 4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

## 1. 工具体

状況	原因	対策
モーターが回らない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池を押し込んでください。
モーターは回るが ピストンが前進しない	リリースバルブがゆるんでいる	リリースバルブを締め直してください。
	カットブロックやピストンに異物がはさまっている	スイッチを切り、リリースバルブをゆるめてから、異物を取り除いてください。
ピストンは前進するが 動きが悪い(遅い)	本体あるいは油圧オイルが冷えている	暖機運転を行ってください。
	本体あるいは油圧オイルが熱い	作業を中断し、本体を冷やしてください。
	ピストン周りをごみやさびなどで汚れている	ごみを取除いても直らない場合は、販売店に修理を依頼してください。
切断できない	油圧オイルが適量でない、あるいは空気が混入している	空気が入らないよう注意しながら、油圧オイルを適量にしてください。
	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	リリースバルブがゆるんでいる	リリースバルブを締め直してください。
	油圧オイルが適量でない、あるいは空気が混入している	空気が入らないよう注意しながら、油圧オイルを適量にしてください。
切断できない	カットブロックが破損している	新しいカットブロックを取付けてください。
	カットブロックが取付けられていない	

## 2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日影などで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。 充電器の電源プラグを 100V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>